

現代ビジネス学部
AOKI Keisuke
PROFILE
職名 京都橘大学学長 現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科教授
学歴 京都大学大学院経済学研究科 経済政策学専攻博士課程 中途退学（1973）
学位 博士（経済学）（京都大学、 2002）
所属学会 経済理論学会、日本財政学 会、社会政策学会、経済学 教育学会、日本社会福祉学 会、進化経済学会、文化経 済学会<日本>
専門分野 社会政策

青木 圭介

あおき けいすけ

研究課題1 ● 福祉文化

業 績

【著書】

『ゆとり社会の創造』／「労働力の販売—セールスマンの不安と孤独—」、昭和堂、1989年9月、共著。

『新編・現代の経済社会』／「教育問題を考える」、昭和堂、1991年2月、共著。

『青年・成人期障害者の自立・発達・共同』／『『もろい社会』の再設計と共同作業所運動』、広島女子大学地域研究叢書、1992年2月、共著。

『今日の世界経済と日本／第1巻 世界経済とグローバル・エコノミー』／「第6章 日本的経営における労働編成とフレキシビリティ」、青木書店、1992年10月、共著。

『経済学ガイドブック』／「日本的経営と企業社会」、青木書店、1993年6月、共著。
『文化経済学を学ぶ人のために』／『『企業社会』から見た文化と教育』、世界思想社、1993年10月、共著。

『人間発達の政治経済学』／「企業社会における労働と人格の発達」、青木書店、1994年11月、共著。

『現代経済を学ぶ』／「変わる生産と産業システム」、ミネルヴァ書房、1997年1月、共著。

『日本の経済システム』／「日本的生産システムと労働組織」、青木書店、1999年12月、共著。

『情報革命と文化産業の発展に関する理論的実証的研究』／「地域文化の基礎としての福祉」、平成11年度京都コミュニケーション基金委託研究報告、2000年3月、共著。

『政治経済学へのアプローチ』／「日本型企業システムの転換」、ミネルヴァ書房、2000年5月、共著。

『文化政策入門』／「福祉の中の文化を求めて」、丸善ライブラリー、2001年2月、共著。

『現代の労働と福祉文化』／桜井書店、2002年5月、単著。

『文化政策学の展開』／「消費者選択と経済改造」、晃洋書房、2003年3月、共著。

『人間発達と公共性の経済学』／「現代の労働と福祉文化の発達」、桜井書店、2005年7月、共著。

『文化によるまちづくりと文化経済』／「経済から文化へ—ソーシャル・キャピタルと安定した学習システム—」、晃洋書房、2006年3月、共著。

『時代はまるで資本論』／「生産システムの展開と剰余価値の生産」、昭和堂、2008年12月、共著。

『入門 都市政策』／「都市の経済と産業」、大学コンソーシアム京都、2009年10月、共著。

【学術論文】

「フレキシビリティとジャパナイゼーション」／『広島女子大学文学部紀要』第25号、1990年2月、単著。

「ポスト・フォーディズム論と地域」／『経済科学通信』第65号、1990年12月、単著。

「ポスト・フォーディズム論と日本的経営—生産技術と労働過程を中心に—」／『広島女子大学文学部紀要』第26号、1991年2月、単著。

「都市の産業構造からみた世界都市論」／日本地方自治学会編『地方自治叢書4・世界都市と地方自治』所収、文堂、1991年11月、単著。

「Flexible Work Organization and Management Control in Japanese-Style Management」／*International Journal of Political Economy* Vol.21, No.3 21頁、1991年11月、単著。

「日本的経営における柔軟な作業組織と管理統制権」／『広島女子大学文学部紀要』第27号、1992年2月、単著。

「二極化した労働時間構造のもとでの労働と生活」／社会政策叢書第17集『変化の中の労働と生活』所収、啓文社、1993年10月、単著。

「福祉計画と『福祉社会論』—福祉多元主義の検討—」／『広島女子大学文学部紀要』第29号、1994年2月、単著。

「日本的経営における技能と組織」／『広島女子大学生活科学部紀要』第3号、1997年12月、単著。

「日本的経営の変化」／『日本の科学者』Vol.33, No.4、1998年4月、単著。

【翻訳】

『労働と管理—現代労働過程論争—』（P. トンプソン著）／啓文社、1990年4月、共訳。

『働きすぎのアメリカ人—予期せぬ余暇の減少—』（J. ショアー著）／窓社、1993年7月、共訳。

『浪費するアメリカ人—なぜ要らないものまで欲しがるか—』（J. ショアー著）／岩波書店、2000年10月、共訳。

『文化経済学入門—創造性の探求から都市再生まで—』（D. スロスビー著）／日本経済新聞社、2002年9月、共訳。

『窒息するオフィス—仕事に強迫されるアメリカ人—』（J. フレイザー著）／岩波書店、2003年5月、共訳。

『経済学は会話である—科学哲学・レトリック・ポストモダン—』（A. クラマー著）／日本経済評論社、2010年7月、共訳。

【その他】

国際シンポジウム報告集『文化政策における環境と福祉』／京都橘女子大学、2004年3月、D. スロスビー、植田和弘と共同。

文化政策研究教育セミナー講演「公共政策とワークライフバランス—新自由主義との関連で、市場と政府と「第3の領域」—」／2006年9月。